

# 1987・1988・1989年度 大学卒業論文一覧

## 1. 法政大学文学部地理学科

### 1987年度修士論文

渡辺拓治 「東京都における大気安定度と窒素酸化物濃度との関係」

### 1987年度学士論文

家田昌宏 「プロッキング現象——オホーツク海高気圧と梅雨前線——」

石橋新吾 「冬季の関東地方における地上風系について」

磯川奈津子 「日本の山地における夏季の気温減率について」

伊東真穂 「東北日本の太平洋岸における海陸風」

尾崎 前 「1987年8月の東北地方における集中豪雨」

坂野裕一 「圏央道建設に伴う大気汚染と高尾山の植生」

佐瀬淳一 「台風通過時における1時間降水の分布について」

細根由里子 「関東地方における南岸低気圧の通過に伴う降雪現象」

### 1988年度学士論文

石川 学 「船橋市における冬季の窒素酸化物濃度と大気の動向」

小笠原恵理 「東北地方における卓越気流吹送時の天気分布と地形起伏との対応」

勝部恭央 「関東地方に局地的悪天をもたらす北東風について」

草野 馨 「日本海低気圧通過に伴う九州地方の発雷」

熊崎康人 「関東・甲信地方におけるひょう害の分布とその発現時の大気特性」

近藤佳子 「関東地方の雨水中のpH分布に関する気候学的研究」

高橋美郷 「関東地方における熱雷の発生とその移動」

武居伸明 「島根県西部における1988年梅雨末期の集中豪雨」

丸山潤子 「柏崎～北魚沼ラインの降雪分布に関する気候学的研究」

谷野 健 「東日本における雨量指数の分布とその信頼性」

山内淳江 「異常気象に関する一考察」

渡辺知子 「住宅地域における公園緑地の気温冷却効果に関する研究」

### 1989年度学士論文

岩井一博 「微気象学的にみた断熱気密化住宅の効果」

岩崎 力 「関東地方における都市機能の発達が平日・休日の気温差に及ぼす影響」

上野 誠 「寒候期における関東地方の視程分布とその推移」

大谷園子 「冬季の南岸低気圧通過に伴う日本海斜面の降水の時間的变化」

大野幸子 「異なる気象条件のもとでの都市気温の出現とその推移」

香月利夫 「九州地方における短時間雨量の地域的特性について」

古口徳夫 「冬型気圧配置時の日本海沿岸の降水分布と海水面温度分布との対応」

小羽謙一 「台風通過に伴う九州地方の強風分布」

藤崎浩二 「冬季の鹿児島地方における降雪発現時の気象特性」

森岡典和 「夏季の気象要素と野球における四球数との関係」

松嶋輝明 「紀伊半島に出現する台風通過時のレインバンド」

山田剛司 「関東地方の航空気象特性に関する一考察」

吉村克巳 「東京の都市気温に関する一考察」

## 2. 弘前大学理学系研究科（地球科学専攻）

### 1987年度修士論文

松本正己 「GMS 赤外面像による西部太平洋域の雲量変動の解析」

### 1989年度修士論文

山本浩之 「暖候期北太平洋域にみられる下層寒気の構造とその形成機構(1988年7月の事例解析)」